

市外の中高生 × 地域の未来

若い発想が安芸高田の可能性をひらく

バリ！アイデアソン

中高生の自由な発想で、安芸高田市をもっと元気に！ 地域課題の解決策を考える「バリ！アイデアソン」が、8月17日(月)・18日(火)に開催されました。今回のテーマは「都市部からの関係人口を増やす」。東京都と徳島県から4校6チーム、19人の中高生が集まり、神楽や農作物など地域の魅力に新たな視点を掛け合わせた、ユニークなアイデアを発表しました。

当日の様子



本選審査会



結果発表・表彰

バリ！アイデアソンとは？

安芸高田市が提示する地域課題について、中高生たちが解決策を考え、アイデアを提案する取り組みです。次世代の発想を地域づくりに生かすとともに、多様な参加者との交流を通じて、持続可能な地域の実現を目指しています。

優れたアイデアは発表だけで終わりません。地域事業者などと連携し、「地域未来交付金」を活用した社会実験を行うなど、実現に向けた取り組みへとつなげていきます。

昨年度は、アイデアソンでの提案をきっかけに、新たな名物グルメ「夜叉ぎょうざ」が誕生。商品化をゴールとするのではなく、「夜叉ぎょうざ」をきっかけに市外の人に安芸高田市を知ってもらおうなど、関係人口の拡大につながっています。



現地で見て、聞いて、考える 参加者たちの2日間

【8/17(月)】 視察・交流・グループワーク

- 14:00～ オリエンテーション
- 14:45～ 吉田高校で神楽鑑賞、生徒との交流
- 15:45～ 企業・団体視察
(井辻食産、川根柚子協同組合、住野工業高宮工場、まごやさい)
- 17:15～ 神楽門前湯治村視察
- 19:00～ 夕食
- 20:20～ グループワーク

【8/18(火)】 発表・審査・表彰

- 8:30～ 発表準備
- 9:30～ 6チームによる発表・質疑応答
- 11:30～ 昼食・審査
- 12:30～ 結果発表・講評・表彰

住野工業

自動車部品のプレス加工を見るのは初めてで、大きな音に驚きました。ロボットも使用されていて、最先端の技術に感動しました。

徳島市立高校
井藤 心和さん(1年)



井辻食産

顧客の意見を取り入れながら事業を行っていることが印象に残りました。

本郷高校
宮井 拓哉さん(2年)



まごやさい

中小企業が農産物を集荷し、市内の飲食店へ届ける仕組みは非常に面白いと感じました。

本郷高校
佐藤 元貴さん(1年)



川根柚子

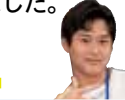
ユズの皮を活用したアイデアを考えていたので、視察で知った使い方などを自分たちの案に反映しました。

潤徳女子高校
長濱 充桜さん(2年)



実際に地域を訪れたことで、安芸高田市の魅力を肌で感じることができました。

京華高校
長谷川 蓮さん(1年)



安芸高田市の人たちが、本気で市を盛り上げようとしていることが伝わってきました。

京華高校
佐伯 蒼太さん(3年)



徳島市立高校(徳島県) チーム「AGRILINK」 “高校生が育てる推し農プロジェクト”



現地で聞いた声が
ヒントになりました



都市部との関わりが一度だけになりやすく、関係人口が増えにくいという安芸高田市の課題に着目。農作物をきっかけに「推し農家」を見つけ、応援購入や農業体験を通して継続的につながる仕組みの提案です。さらに、安芸高田市と都市部の高校生が協力して農家を取材・発信。「また会いたい」と思える関係をつくり、地域のファンや関係人口を増やすとともに、市内の農産物や商品の魅力を伝え、市内外での利用や購入につながるきっかけをつくります。

農作物にも『推し』をつくらう！

農家の方の思いや「高校生にPRしてほしいこと」を取り入れながら、実現しやすさも大切に提案に反映しました。農作物に愛着を持ってもらえるよう、「推し」という言葉を取り入れたのも工夫した点です。現地でお話を聞くことで、インターネットでは得られない新たな視点に出会い、さまざまなアイデアが生まれました。徳島にも安芸高田市と共通する地域課題があります。地域の魅力を知り、課題解決に向けて挑戦する楽しさを感じました。



神楽、食、スポーツ… ほかにもこんなアイデアが生まれました！



本郷中学・高校(東京都)
チーム「ADP」

サンフレッチェ広島練習環境を生かし、安芸高田市を「サッカーのまち」として発信。サッカー交流や地域の食・神楽を楽しむフェスから、将来は国内外のユース合宿や国際大会へと発展させる。



本郷中学・高校(東京都)
チーム「ネコ展ミロ展」

市内22神楽団が競い合う「安芸高田神楽カップ」を提案。観客や配信視聴者による投票を取り入れ、グルメや衣装体験も実施。ファンクラブやライブ配信を通じて、継続的に応援するファンを増やす。



潤徳女子高校(東京都)
チーム「四神」

神楽をイメージした新作和菓子「彩鱗」。大蛇のうろこを表現した五色の見た目と、ユズの皮を練り込んだ白あんが特徴。SNSや口コミで発信し、商品をつなげて安芸高田市への興味や来訪につなげる。



京華高校(東京都)
チーム「安芸高田ネバーダイ」

YouTubeで安芸高田市の魅力や特産品を発信し、将来は都内にアンテナショップを開設。さらに、JR芸備線で地酒やご当地グルメを楽しむ「角打ち列車」から神楽門前湯治村へつなぐツアーを提案。



京華高校(東京都)
チーム「結(ゆい)」

神楽団を「推し」として応援するファンクラブ制度を展開。SNSでの交流や神楽体験、アンバサダー活動を通してファンを増やし、「また来たい」「応援したい」と思える継続的なつながりを目指す。



藤本市長

安芸高田市から遠く離れた地域で暮らす皆さんが、短い時間の中で本市のことを真剣に考え、素晴らしい提案をしてくれたことに感謝しています。どの発表も熱意があり、新たな気付きや参考になる内容ばかりでした。

商工観光課 商工係 ☎お太助フォン 47-4024